

平成30年度第6回10月期定例番組審議会議事録

1. 開催の日時 平成30年10月11日(木) 午前11時

2. 開催の場所 栃木放送本社会議室

3. 委員の出席 委員総数9名
出席委員7名

| | | |
|-------|-----|------|
| 出席委員名 | 委員長 | 増田仲夫 |
| | 委員 | 竹内明子 |
| | 委員 | 荒川政利 |
| | 委員 | 河又弘子 |
| | 委員 | 白幡冬彦 |
| | 委員 | 和田裕二 |
| | 委員 | 藤澤 勝 |

| | | |
|--------|---------|------|
| 局側出席者名 | 代表取締役社長 | 大塚幹夫 |
| | 報道制作局長 | 川島育郎 |
| | 編成部長 | 大谷佳久 |
| | 報道制作部 | 加藤拓也 |

4. 議 題

(1) 「まろらじ」について

毎週土曜 24:30～24:45

(平成30年10月6日(土)放送分)

報道制作部 加藤拓也

(2) その他

5. 議事内容

(1) 「まろらじ」について

試聴番組：10月6日(木)に 放送した番組を予め試聴。

議題説明：報道制作局加藤が番組の企画・制作内容について説明した。

とちぎテレビのキャラクター「まろにえ〜る」の声優による新たに始まったラジオ番組。ゲストを招いたりしながら栃木県をPRしていくなど番組コンセプトを説明して審議に入る。

各委員からは、

- ターゲットを絞っているのはわかりやすい。甲高く早口で聞き取りづらかった。栃木県のPR番組として今後に期待したい。
- 始まったばかりでこれから中身を濃くしてほしい。
- ラジオからアニメが出てくるようなイメージをわかせるファンにとってはとても魅力的だろう。様々なマニアにいろいろな角度から栃木県をPRしていくのは良い。
- もっと早い時間でも良いのではないか。出演している声優の意欲がとても出ていてパワーを感じた。ファンに受けるような媚びた感じの声になっていてもっと普通に話しても良いのではないか。
- 初めて聞くと早口で聞き取りづらく、出演者3人の違いが分かりづらかった。幅広いジャンルを取り扱うのは良いことで、それぞれのファンを逃さないよう要望を聞きながら進めてほしい。今後、どのように栃木をPRしていくのか期待したい。
- とちぎテレビの趣旨に合うような放送なら良い。早口で聞き取りづらかった。
- 「まろにえ〜る」がどのようなものか、番組で説明があっても良かったのではないか。若い年齢の市場を掘り起こして、ラジオを認知してもらえるように工夫は必要。
- テレビとラジオのコラボ企画をしていくのは良いこと。栃木放送を若い方々にいかに聴いてもらえるかということを考える必要がある。
- 今後、反響を調べて生かしてほしい。

当社としては、これらの意見をもとに、今後の番組制作や広報に取り組んでいきたい旨を、各委員に伝えた。

(2) その他

6. 審議内容

上記の通りであり、特に審議決定し、答申すべきものはなかった。

7. 番組審議会の答申および意見の概要の公表

- ① 社の番組「栃木放送からのお知らせ」
(平成30年10月21日(日) 午前8時5分放送)
- ② 社のホームページに掲載(平成30年10月 日～)
- ③ 社事務局に議事録備え置き(平成30年10月21日～)

以上